

# 安芸太田町観光協会 (tourism association) 通信 第27号

広島県山県郡安芸太田町大字上殿632番地2 (道の駅来夢とごうち内) ☎28-1800

平成23・24年度は【安芸太田町】を町外の方々に知っていただくことを主目的に、観光協会としてさまざまな取り組みをしてきました。今後もPR活動は継続しつつ、平成25年度からは観光振興の視点のみならず産業振興、経済振興、町外からの優秀人材誘引活動などをミックスし、行政や個人・団体と連携して、前向きな事業を継続的に推進しています。

## ①第2回世界イグルー選手権の日程が正式に決定しました【観光振興系】

日本最南端の積雪地帯に位置するスノーリゾート安芸太田町のブランドイメージを、南日本や東南アジアそして何より広島県内に浸透させるべく開始した参加型イベントです。昨年の参加者の3分の1強が外国人と安芸太田町では最も国際的な大会となりました。

今年も、既に高い注目を集めており、首都圏のテレビ局からの問い合わせが早くも来ており、タイのテレビ局の取材チームの参加が確定しています。そこで、今年は早めに平成26年2月2日に開催を決定しました。

申し込み開始は12月1日です。

町内枠も昨年同様設定します。多くの町民の方々の参加をお待ちしています。

## ②あなたのチャレンジを応援しますプロジェクトいよいよ始動!!【経済振興系】

本年7月に発表したこの事業ですが、ようやく第1号の申込みをいただきました。

【グループ名：ANA郷／修道地区】10月12日(土)・13日(日)に道の駅：来夢前で出店予定です。

現在たくさんの方が訪れる道の駅前で、商品PRを兼ねた販売活動や顧客データ収集が出来る貴重な機会です。是非チャレンジしたい方々の申込みをお待ちしています。(申込書は観光協会HPか道の駅で受け付けています。)

## ③過疎地だからこそ必要。WEBを活用した戦略的販売講座決定【経済振興系】

葉っぱビジネス(葉っぱや花などを料理のつまもの【料理を引き立てるために添えられる葉っぱや枝花など】として出荷する「彩事業」を興し、地域を活性化させた)で有名な徳島県上勝町では80歳超の方たちが、最新通信機器を活用して、ビジネスを行っています。奇跡の島と称される島根県海士町では、若者がWEBを活用し、地元産品を全国に通信販売をしています。さらに、徳島県神山町では、大都市からIT企業や個人事業者が移住を続けており、その結果WEBビジネスへの理解が広がっています。

このように、WEBビジネスは、過疎地だから不利ということはなく、やればできるのです。そのために、まずはWEBビジネスを知っていただくため、WEBビジネス講座を太田川かけはして3夜連続開催します。

【12月9日・10日・11日 午後7時～ 太田川交流館かけはし ※詳細は広報11月号で発表予定です。】

## ④安芸太田町民×安田女子大学 困り事解決プロジェクト日程決定【地域振興系】

町内の困り事を、各地域の活性化と経済活性に繋げる全く新たなビジネスモデルとして昨年スタートしたこのプロジェクトですが、安田女子大学から非常に高い教育効果があると評価いただき、今年は今年の3事業から4事業に増加しました。

町民・大学生双方に効果をもたらす本事業を、今後とも積極的に進めていきます。

## ⑤安芸太田町人情田舎体験 絶好調【地域振興系】

当町の人情田舎体験(民泊事業)が、都市部の学校から高い評価を受けつつあります。民泊における生徒達との真剣な向き合い方や、生徒への慈しみ、ラフティングを開催した際の沿道で学生たちを応援する人情深さが、都市部の先生や旅行会社の心を確実に捉えてきました。

平成25年度は民泊2校・外国人学生ホームステイ1団体でしたが、平成26年度は民泊4校・人情田舎体験2校、平成27年度は現時点で既に民泊5校・人情田舎体験3校です。そのうち1校は当町の取り組み姿勢に感銘し、3年間の長期契約となりました。評判を聞きつけ、多くの旅行会社の方が視察に訪れるようになりました。

これら一連の結果こそが、町民一人ひとりが町のために、地域のために、何より日本を支える若者たちのために貢献できる、最高の事業であることの証明だと改めて確信しています。日帰り型ホームステイ事業も、15家庭が新たに登録いただきました。町民の皆さんが主人公のこの事業は、これから益々展開を加速させます。どうぞ、ご期待、そしてご協力をお願いします。